

メディア掲載情報

媒体名	PARKINGTODAY
掲載号	2013年夏号
掲載日	
掲載内容	坂田社長インタビュー

特別
レポート

カツデンアーキテック 木部工場を訪ねて——



魅力の「D-NA (ディーナ)」

景観に配慮した美しく、機能的なサイクルスタンド

とにかくオシャレでカッコイイ。そんなサイクルスタンド「D-NA (ディーナ)」シリーズを創り続けているのがカツデンアーキテック(株)(本社・東京都台東区、坂田清茂社長)だ。デザイン性を最重視したものづくりのスタンスから誕生した「D-NA (ディーナ)」の支持層は着実に広がっている。埼玉県児玉郡美里町にある同社の木部工場を訪ねた。

84

PARKINGTODAY
パーキングトゥデイ



本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

メディア掲載情報

媒体名	PARKINGTODAY
掲載号	2013年夏号
掲載日	
掲載内容	坂田社長インタビュー

INTERVIEW

「デザイン力こそ当社の強みです」

「D-NA」の開発・販売を陣頭指揮する坂田清茂社長

上越新幹線・本庄早稲田駅から南方へクルマで約15分。閑静な田園風景が広がる一角にカッデンアーキテックの本部工場はあった。

カッデンアーキテックと言えばスタイリッシュな室内階段製品、屋外アルミらせん階段などで知られるメーカーだが、平成19年からオシャレで個性的なサイクルスタンド「D-NA（ディーナ）」を開発し、国内市場に供給している。その「D-NA」の生産現場がここ本部工場なのだ。

「D-NA」の生産風景、ショールームなどを見学した後、坂田社長にものづくりの基本スタンス、「D-NA」への想いなどをうかがった。

インタビューの概要を紹介したい。



サイクルスタンド開発の想いを語る坂田清茂社長

一室内階段の手すりなど住宅関連商品を手掛けている御社が、サイクルスタンド「D-NA（ディーナ）」の開発に踏み切った理由、きっかけは？

「7、8年前に北欧を視察した際、美しい駐輪場、洗練された駐輪機を見てびっくりしたわけです。きれいな駐輪場にスタイリッシュな自転車が整然ととめられているんです。これは日本の駐輪場と全然違う、美しい光景だと思いました。そして、こういう駐輪機、サイクルスタンドを開発し、日本で普及させることはできないだろうかと考えたわけです。それが最初の発想です」

—いわば自転車文化の違いに驚いたわけですね。

「そういうことです。北欧、それからドイツもきれいな駐輪場がありました。向こうでは自転車が市民権を持っています。走る空間、自転車道路、駐輪場がきちんと整備されているんですね。駐輪場、駐輪機も実に美しい。うちものづくりの会社ですからデザイン、意匠にはこだわりを持っています。北欧の駐輪場には刺激を受けましたね」

—日本では毎年1000台近い自転車が販売されており、需要は高いのですが、自転車文化となると残念ながらもまだまだ低いと言わざるを得ません。これは駐輪場づくりの有り様にも反映していると思います。

「インフラもそうですが、景観、環境に対する配慮が欧州と日本ではかなり違いますね。たとえばヨーロッパでは古い建物を出来る限り残します。建て替えて新しいものに造り替えた方がコスト的には安いのですが、多少費用が高くなっても古い建築物を可能な限り活かした街づくりをします。だから街が落ち着いていて、美しいのです。そうした考え方の延長に駐輪場づくりというものがあるのです。欧州では景色、景観にマッチングした駐輪場が多いですね。

日本ですと、どうしてもコストであるとか、何台収容できるのかといった方向に流れがちです。それは自転車の数量とかビジネス的な見地からは理解はできるのですが、うちが勝負するのはそこではないと考えています。あくまでもデザイン性であり、街の景観を引き立てられるような駐輪機、サイクルスタンドで勝負していくつもりです。うちができるのはそこですから」



メディア掲載情報

媒体名	PARKINGTODAY
掲載号	2013年夏号
掲載日	
掲載内容	坂田社長インタビュー



[D-NA] シリーズの原点・C型タイプ

「いかに美しく、
気持ちよく駐輪できるかが
D-NA のテーマです」

一確かに「D-NA」シリーズは魅力的なサイクルスタンドがラインアップされていますね。

「いかに美しく、気持ちよく駐輪できるサイクルスタンドを開発できるか。それがD-NAのテーマです。毎年、新製品を発表していますが、その考え方は貫いているつもりです」

一設置例はかなり増えているんでしょうね。

「うちは営業が下手ですから(笑)、まだまだ目標としている数字には達していません。それで



[D-NA] (CESTA)。スペインのデザイン事務所とのコラボレーション第1弾製品だ

86

PARKINGTODAY
パキングトゥデイ



メディア掲載情報

媒体名	PARKINGTODAY
掲載号	2013年夏号
掲載日	
掲載内容	坂田社長インタビュー

INTERVIEW

も役所、大学、伊東豊雄さんの建築事務所、美術館、公園、銀行、マンション、一般住宅などいろいろなところで設置されるケースが増えていきます。IHIエスケープさんが手掛けた堺市のコミュニティサイクルのラックも弊社でつくらせていただきました。お陰様でD-NAを採用していただいたお客様は熱心に支持してくれています。うちのものづくりのスタンスというのは変えるつもりはありませんが、ビジネスとしてもっと幹の太いものにしていかねばと思っています」

「それぞれにしても時代の流れをとらえたオンリーワンの商品がラインアップされていますね。」

「意匠、デザインで他社との差別化をはかっていくことがうちの生きる道ですから、そこにはこれからもこだわっていきます。スペインのデザイナーもスタッフに加わりましたので面白い製品を開発できるはずですよ」

「サイクルスタンドの文化を変えていこうな素晴らしい製品の開発を期待しています。」

「頑張ります。とにかく快適で、美しいサイクルスタンドを世に出していきたいと思います」

短い時間ではあったが、坂田社長は自社のものづくりのエッセンス、基本ポリシーを率直に語ってくれた。

確かに、ショールームに展示されていた「D-NA (ディーナ)」は機能的で、美しく、遊び心に飛んでいた。「自転車文化」を意識させてくれる商品群だった。

「D-NA (ディーナ)」は日本の駐輪場の景観を美しく彩ってくれるサイクルスタンドだ。今後の展開に注目したい。

ショールームに展示されていた「D-NA (ディーナ)」の商品群を紹介しよう。



「D-NA」(CLIP 床付タイプ)



「D-NA」(CLIP 壁付タイプ)



カラーバリエーションがある「D-NA」(PMタイプ)



「D-NA」にはベンチタイプのモデルもある